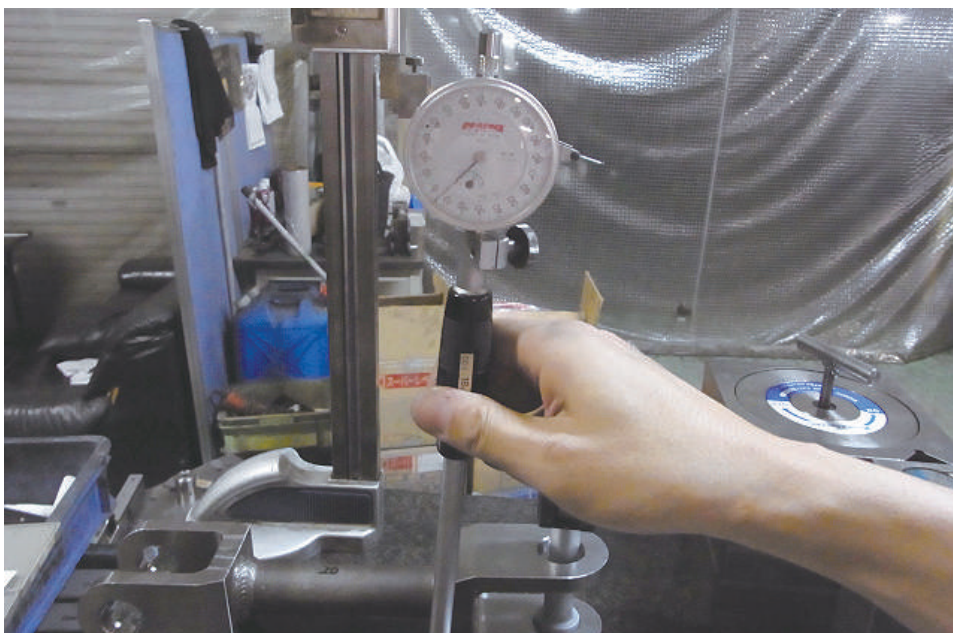


株式会社エムテック

フレキシブルな体制で、短納期、低コストの部品加工を実現

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン



マイクロゲージで加工部品の精度を測定

業務内容

金属材料販売から加工業に転身、起業

金属材料販売会社に勤務していた森本幸一社長が「営業で多くの金属加工会社を回っていた」経験を生かして、金属加工業で独立した。創業前に2年間プレス加工会社で修業。独立して間もなくシャープ株式会社から液晶テレビフレームの土台となる部品を受注するなど、さまざまな分野の大手メーカーから部品加工を受注してきた。現在は、金型製造、プレス加工、溶接加工と加工の幅を広げ、棚板など建築金物や農機具、弱電機器などの部品加工を行っている。

強み

困難な仕事もやり遂げた実績が口コミで伝わる

同業他社に比べて短納期、低コストの仕事をごこなせることが最大の強み。社員は5人と少ないが、独立採算性の出来高払いで契約している人もいる。社員とはいえ一人ひとりが個人事業主のような形で、個人の裁量で困難な仕事もこなしてしまふ。時間に縛られることもないため、他社では難しい納期、価格の要求にも対応しやすいという。加工の注文を集めてくるのは、森本社長の仕事。どんな仕事でも断らない。をモットーにさまざまな仕事を扱ってきた結果、「エムテックに行けば、多少の無理でも聞いてくれる」ということが口コミで伝わった。今では顧客の方から同社に持ち込まれる仕事も多い。

品質

加工精度を保つための検査設備、体制が充実

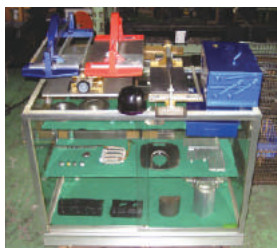
たとえ納期やコストが厳しい仕事で

あっても、精度などの品質を落とすわけにはいかない。受注した仕事を加工者に割り振る際に、内容と加工者の技能をマッチングさせるような心がけている。自社でできない仕事は、森本社長のネットワークを生かして、最適な加工業者へ割り振っている。プレス加工による部品製造では、顧客から指示される公差はマイクロメートル単位で対応可能な体制を敷いている。ミクロンゲージでの検査や不具合品の製造を感知する設備を導入して、不良を抑えるようにしている。不良品発生率は0.7%とほぼ不良品が発生しない水準に達している。

今後の展望

鉄道部品分野への進出で安定経営を目指す

現在、鉄道関連の部品加工の引き合いがある。受注すればこれまでの製品に比べ大ロットで継続することが見込めるため、鉄道部品の専用新工場設置を計画している。これまでも



プレス加工で製造した部品

の仕事も継続しながら、新工場への投資を回収していく考え。森本社長は現在34歳。「今の仕事は45歳までにやりきる」と区切りをつける希望を口にしている。残りの10年間は社員、外注を含めた同社ネットワークで、がむしやりにあらゆる部品加工の仕事をごなし続ける。従来、中小企業では難しかったシングル鋼、チャンネル鋼の4〜6mの長尺物の加工にも挑戦する。

COMPANY PROFILE

株式会社エムテック



ISO 9001
ISO 27001

当社の歴史

金属材料販売企業勤務時代の加工業者とのつながりを生かし、平成14年にプレス加工業として創業した。平成18年に有限会社となり、平成19年には大阪府特定業種中小企業創業法人に認定を受けた。平成20年には株式会社に変更。同年、溶接工場を開設した。

「有言実行が周囲からの信頼を生む」を経営方針に顧客の信頼を獲得しています。

代表取締役 **森本 幸一**さん



■主な事業内容

金型製造、プレス加工、ブレーキ加工、溶接加工

■主な取引先(納入先)

農機具メーカー、棚板メーカー

住所 / 〒581-0815
八尾市宮町
5-9-35

TEL / 072-992-8076
FAX / 072-992-8086

創業 / 平成14年3月
設立 / 平成18年3月
資本金 / 2,000万円
従業員 / 5名

<http://mtech-km.jp/>